

熟塾・大阪ヌーボーフェア-10回目開催記念公開講座：  
私たちは“大阪産ワイン”と出会い、そして、  
聖武天皇がビルシャナ仏を造ろうと思いついた  
大阪にあった“智識寺”と出会った！



# 東大寺とビルシャナ仏

華嚴宗宗務長/東大寺執事長/東大寺大仏殿院主 **平岡昇修氏**

智識寺再現模型製作への思い **柏原市市民歴史クラブ会長 長澤星二氏**

日時：2015年11月8日(日曜日) 午後2時～4時

会場：大阪歴史博物館 4階講堂

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32 TEL:06-6946-5728  
地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」・ 号出口・大阪市営バス「馬場町」バス停前すぐ

会費：一般 1000円・高校生/大学生 500円

2006年11月から10回にわたり大阪ヌーボーを飲む会を開催してきましたが、大阪のワイナリーを訪ね歩いていた10年前に“智識寺址”の小さな石碑に出会いました。天平12(740)年聖武天皇が難波宮行幸の折、河内国大県郡(かわちのくにおおがたのこおり=現在の大阪府柏原市)智識寺に拝された事が、ビルシャナ仏造願発願への動機となったことを知りました。

大阪ヌーボフェア-10回目開催を記念し、その“智識寺”の門を開け、大地震・かんばつ・飢饉・凶作・政変・天然痘の大流行などが相次いだ奈良時代、国をどのように治めればよいかと独り苦悩する聖武天皇の目に智識寺のビルシャナ仏はどのようなお姿に映ったのか・・・タイムスリップの旅へご一緒しましょう。

まずは、柏原市市民歴史クラブが50分の一のサイズで再現した2メートル四方の智識寺の模型を会場でお披露目すると共にその再現過程も紹介。

更に、聖武天皇が造営された難波宮遺構上に建築された大阪歴史博物館の講堂に奈良の東大寺より平岡昇修氏をお迎えし、「東大寺とビルシャナ仏」について現代に至る歴史と共に語っていただきます。



**平岡昇修氏**：華嚴宗宗務長/東大寺執事長/東大寺大仏殿院主。

1949年、奈良市東大寺生まれ。大谷大学文学部仏教学部卒業後、72年～75年、インド政府給費留学生として、マドラス大学インド哲学科修士課程修了。日本学術振興会奨励研究員、花園大学などでの非常勤講師を経て、現代東大寺塔頭之坊住職。東方学院講師、財団アジア・アフリカ国際奉仕財団理事長も務める国際派で、サンスクリットの書著多数。

熟塾・大阪ヌーボフェア-10回目開催記念公開講座**東大寺とビルシャナ仏** 講演会参加申込書

大阪から情報を発信する文化活動グループ 熟塾・FAX：06-6281-8406

お名前			
ご住所	〒		
TEL NO		E-mail	

電話：090-8381-0150(留守電にお名前・ご住所・お電話番号を録音願います)  
熟塾ホームページ <http://www.jukujuku.gr.jp/> (BXI05250@nifty.com)からもお申し込みいただけます。  
お申し込みいただくと、会場の場所等を明記した参加証を郵送いたしますので会費は当日ご精算ください。